

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年 6月 4日更新

事務事業名		森林経営管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康		所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	22	地球温暖化防止対策の推進		所属課	農政課	担当者名	林田 健太郎
	施策の柱	64	地球温暖化防止対策の推進		所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目	会計一般	款 6	項 2	目 1	事業連番 11764	根拠法令	森林経営管理法 森林環境譲与税	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・森林経営管理法(平成31年4月1日施行)により、市町村が経営管理権集積計画を定め森林所有者から経営管理権を取得したうえで、経営管理を行うことにより温室効果ガス排出削減、災害防止等森林の管理の適正化及び林業経営の効率化を図るために実施するものである。また、令和元年度より都道府県及び市町村に譲与される森林環境譲与税(目的税)を財源とする。 ・事業の具体的取り組みについては、慎重な検討をするため、当面は基金に積み立てる。
【業務の流れ】	・森林所有者の意向調査・集積計画案の作成 → 同意取付、経営管理権集積計画の公告・縦覧 → 管理委託(間伐等)
【主な予算費目】	積立金
【意見や要望】	・本事業の財源については、国から各自治体に割り当てられた森林環境譲与税を充てるものであるが目的税であり、使途については協議する必要がある。 ・竹林整備事業に森林環境譲与税を活用してほしいという意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	令和元年度から創設された森林経営管理制度に基づき、森林環境譲与税が譲与されたが、使途を見極めるため合志市森林環境譲与税基金に積み立てを行った。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志市森林環境譲与税基金に積み立てる。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア: 森林面積	ha	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
森林法第5条第1項の地域森林計画の区域の森林面積	→ ア: 地域森林計画の面積	ha
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
意向調査を行うことにより、森林管理ができる所有者を把握する	→ ア: 意向調査(アンケート)の回収率	%
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
CO2の排出量を削減する生活や事業活動を行う		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度	2年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	ha	652	652	652	652	652	652	652	652
	イ									
	イ									
② 対象指標	ア	ha	5.71	5.71	5.71	5.71	5.71	5.71	5.71	5.71
	イ									
	イ									
③ 成果指標	ア	%	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	2,744	5,800		5,800	7,250	7,250	8,700
		繰入金	千円							
	一般財源	千円			5,832					
	(A) 事業費計	千円	2,744	5,800	5,832	5,800	7,250	7,250	8,700	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	3	3	0
延べ業務時間	時間	100	0	230	0	0	0	0		
(B)人件費計	千円	396	0	906	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,140	5,800	6,738	5,800	7,250	7,250	8,700		

事務事業名	森林経営管理事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は 2年度の後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 予算規模を踏まえた用途についての調整が難航したため。
	② 3年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 令和元年度からの新規事業であるが、森林環境譲与税が目的税であり、用途については協議する必要がある。用途決定後は、基金を取り崩して事業を推進するが、現在のところ用途が決定していないため目標達成の見込みがない。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 意向調査（アンケート）の回収率は、100%になるまで成果向上の余地はある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 法律による規定の事務である
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員で事務を行っているため、人員の削減はできない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 森林資源の温室効果ガス排出削減や災害防止に向け、森林環境税、森林環境譲与税、森林経営管理法を制定し、国策として行っている事業であるので公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法律による規定の事務である

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

用途を見極めるため合志市森林環境譲与基金に積み立てを行った

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					